

## OS の新規インストール後の必要設定

バックアップが上手く動作しなかったり、そもそも無い場合、**新規インストールをする事**になります。  
その場合以下の内容は必ず行って下さい。

- ・「NT43 Linux 資料 01 インストール」

※すべての設定

- ・「NT43 Linux 資料 03 インストール後の初期設定(5 月 8 日改訂版)」

※ [1] インストール後の初期作業 のすべての設定

※全て大切ですが特に「getenforce」と「sudo コマンドの利用」は必須

- ・「hal」(パスワード: halhal)、「自分の名前」(パスワード: 何でも可)

のユーザを作成しておく

- ・「NT43 Linux 資料 14 プロキシ設定(5 月 29 日)」

※学内で作業する時は必要。家で作業する時は

[hal@motobe ~]\$ **sudo vi /etc/yum.conf**

で追記した最終行の 3 行の前に「#」を入れてコメント化

←学校に来た時はまた「#」を外す

**#proxy=http://proxy01.osaka.hal.ac.jp:8080**

**#proxy\_username=\*\*\*\*\*** ←HAL のユーザ ID

**#proxy\_password=\*\*\*\*\*** ←HAL のパスワード

- ・最新状態に Update ←ダウンロードデータが多いので注意！

[hal@motobe ~]\$ **sudo yum -y update**

- ・「NT43 Linux 資料 08 SSH(5 月 22 日)」

※すべての設定

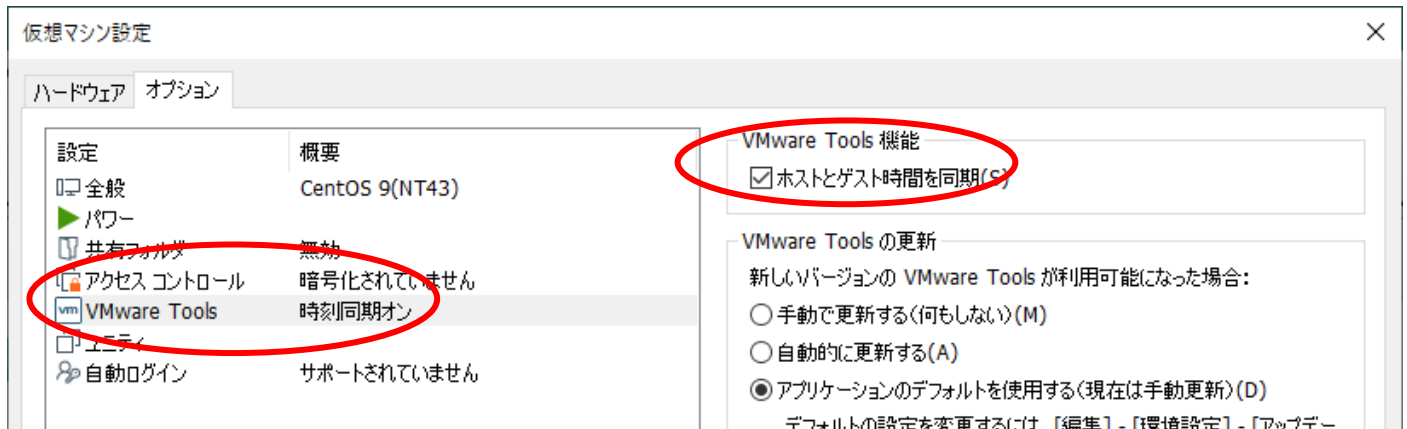
- ・時刻の同期設定

※プログラムのインストール時に **Linux** の時刻が大きくずれていると上手くインストール出来ませんので、必ず時刻の同期設定をしておく。

## ①VMware

←時刻の同期はインストール時に設定しています

VMware のメニュー → [player] → [仮想マシン設定] → [オプション] → [時刻同期オン]



## ②UTM

←設定をしていないとどんどん時刻がずれます！

Linux の[設定] → [日付と時刻] → [自動日付設定]をオン



## ③VirtualBox

※VMware の様な MAC との時刻同期の設定があるか確認。無ければ UTM と同じ設定。

ここまで行ったらもう一度バックアップ！

・「NT43 Linux 資料 15 OS のバックアップとリカバリ (6月5日)」

以上